

製品名: FGFR-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10948**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	95-130kDa

抗原情報

遺伝子名	FGFR3
別名	FGFR3; JTK4; Fibroblast growth factor receptor 3; FGFR-3; CD antigen CD333
遺伝子 ID	2261.0
SwissProt ID	P22607
免疫原	抗血清はヒト FGFR3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

背景

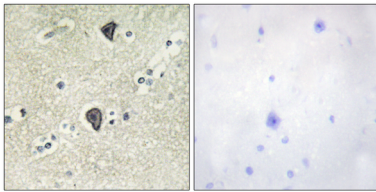
この遺伝子は線維芽細胞増殖因子受容体 (FGFR) ファミリーのメンバーをコードしており、そのアミノ酸配列はメンバー間および異なる種間で高度に保存されています。FGFR ファミリーのメンバーは、リガンド親和性と組織分布において互いに異なります。全長の

代表的なタンパク質は、3つの免疫グロブリン様ドメイン、1つの疎水性膜貫通セグメント、および細胞質チロシンキナーゼドメインからなる細胞外領域で構成されます。このタンパク質の細胞外部分は線維芽細胞増殖因子と相互作用し、下流シグナルのカスケードを開始させ、最終的に有糸分裂誘発と分化に影響を与えます。この特定のファミリーメンバーは、酸性および塩基性線維芽細胞成長ホルモンに結合し、骨の発達と維持に役割を果たします。この遺伝子の変異は、頭蓋縫合早期癒合症および様々な骨格異常を引き起こす：ATP + a [protein]-L-チロシン = ADP + a [protein]-L-チロシンリン酸。疾患：FGFR3に関連する染色体異常は、多発性骨髄腫（MM）の原因となる可能性がある[MIM:254500]。IgH 遺伝子座との転座 t(4;14)(p16.3;q32.3)。疾患：FGFR3 の欠陥は膀胱癌の原因となる[MIM:109800]。体細胞変異は FGFR3 を恒常的に活性化する可能性がある。

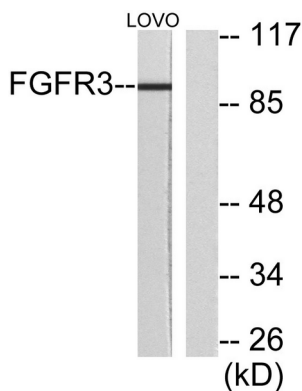
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;エンドサイトーシス;アクチンと細胞骨格を制御;がんにおける経路;膀胱がん;

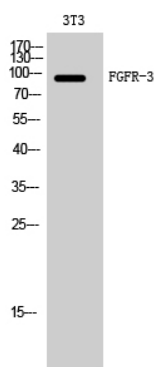
画像データ



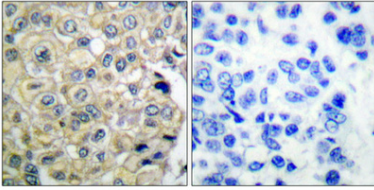
FGFR3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



FGFR3 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈した FGFR-3 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。